



二学期開始

あっという間に二学期が開始です。変則的な一学期と短い夏休みで、子どもたちはどんな様子かと心配していました。しかし、夏休みがなかったかのように児童が登校してきました。大きな事件や事故もなく、本当に穏やかに二学期が開始できますことは、児童の平常心も当然のことながら、家庭や地域の皆さまのおかげと、感謝申し上げる次第です。

始業式にて

始業式当日、校長は人間ドックで始業式に出られませんでした。医療機関も新型コロナウイルス感染症の関係で、人間ドックの日程変更がきかない異常事態とのことで、泣く泣く始業式を欠席しました。自分に代わって、教頭先生に学校長の話の代理と児童の観察をお願いしておきました。その様子を聞くと、

- 1 児童の式に臨む姿勢が1学期の終業式と同様で、落ち着いて無駄な動きがない。
- 2 人の話を目と耳でしっかり受け取っていて良かった。特に高学年が素晴らしかった。
- 3 5学年が発表した「反省とこれからの向けて」に注目し、式や教室の様子を見て、しっかりした態度と高学年の意気込みが感じられた。

とのことでした。全校児童に対して教頭先生は、

恥ずかしがらずに、

真面目に、

他の人の失敗を笑わずに、

トライ（挑戦）できる子になってください。

とお願いしました。

素敵な二学期にしましょう

第1回PTA理事会 R2.8.27(木)19:30

本年度初のPTA理事会を開きました。家庭数が32家庭の本校では、理事数は全家庭数の半分の16名です。ここでお伝えしたことを理事以外の方が一人の役員さんと話すことによって、全家庭に情報が伝わります。近所や学年の関係等で、情報交換していただけましたらありがたいです。

本年度初めてということ、意見は出ませんでした。終了後に行事関係のたくさんのお話が個別にできました。次回は会議の中でもたくさんのお話が出てくると思います。

皆さんからPTA役員さんへ、役員さんから学校へと伝われば、いろいろな情報が共有できますし、学校が行き届かないところも発見して対応できます。学区外の家庭も多く、地域を越えてPTAの連携もお願いいたします。

<理事会での提案抜粋>

運動会…シート敷きは前日17:30～。当日の車の乗り入れは8:00までと8:20～8:45。これ以降は不可。PTA種目や後片付けでのPTA手伝いはなし。

都留市教育を語る会…本年度中止、陳情のみ。昨年度陳情で、本年度インターホン取り替え終了。教室や職員室、保健室間通話可能。AEDも校内設置完了。救急対応が改善。

秋の交通安全運動…平日9月24日(木)～29日(火)にて地区理事との相談の下、各家庭1回立ち番依頼。7時35分頃から8時頃まで、あいさつや安全の声かけ指導をお願いします。

修学旅行等は裏面 <理事会学校長の話>

3人の担任?

8月26日(水)より白水先生から代わって、2学年に初めての男の先生、高山先生が担任として着任しました。

25日(木)には事務引き継ぎ、正規の担任の天野先生もお見えになり、3人の担任と対面しました。こんな経験は滅多にありません。2年生の瞳はひとときわ輝いていました。

今後の行事について 理事会学校長あいさつより

初めての保護者の皆さんとの顔合わせとなります。

本年度、着任した校長の村松でございます。禾生第一小学校からの異動で、住まいは四日市場です。初めての附属小勤務で、職員数も少ないことから、道路はきや畑、ふれあいの森の手入れ等、現場の一人としてがんばるようにしております。子どもたちは素直で、あいさつがよくできて、高学年のリーダー性も発揮されています。とても良い学校だと思っております。とはいえ、特にコロナの関係では保護者の皆様方におかれましては、色々ご迷惑をおかけしていることと思います。

さて、ここからの学校の動きを少し紹介させていただきます。＜以下行事関係＞

9月19日土曜日の運動会につきましては、午前中開催、お弁当なし、来賓なし、家族以外の方の参加はお断りといった非常に特殊な開催です。他校ではもっと厳しくて、家族も1名や2名の参加とせざるを得ないところもあります。また、聞くところによると、富士吉田方面の大規模な学校では、自分の学年の演技が終わったら教室で学習といったところもあるようです。そういった意味では、まだ附属小は恵まれているのかもしれませんが、三密回避や消毒を中心に、安全な運営を心がけて参ります。特に6学年の種目につきましては、感染予防を最優先に、思い出に残る種目を構成中です。

10月1日木曜日の遠足や林間学校、10月8日9日木金曜日の修学旅行についてお話しいたします。

1、2学年遠足は、笛吹市の金川の森で自然の中で楽しく遊びます。

3、4学年遠足は、甲府市の県立科学館と笛吹市の山梨伝統工芸館で社会と理科の学習をします。

4、5学年林間学校は、宝の山ふれあいの里で日帰りの自然体験をします。宿泊しないのは、三密回避のために四つのバンガローに分かれる必要があり救急体制等で安全な宿泊が担保できないこと、4学年が甲府遠足にも行くことから4学年の体力面での心配があること、2年間林間学校に参加できること等を理由としています。5学年の東京遠足はこの状況下で実施できません。

6学年修学旅行は、静岡県方面で決定しました。東京都と神奈川県のコロナの罹患状況から、静岡県を中心として、長野県、山梨県も予備検討対象として方面を模索してきましたが、8月27日現在の新型コロナウイルス感染症の実効再生産数では静岡県が0.88、長野県が1.87、山梨県が2.45、静岡県が一番危険性が少ない状況です。来週以降、6学年から予定等の詳細が発送されます。

どの行事も新型コロナウイルス感染症の動向によっては、再延期の可能性があります。特に修学旅行につきましては、9月15日以降、キャンセル料が発生しますので慎重に判断して参ります。

最後に10月の授業参観についてですが、学年ごとに開催日時を分けたりの三密回避の工夫をして実施する方針です。

例年にないことづくめの1年間になっております。厳しい中ですが、子どもたちのために学校へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

＜理事会終了後の立ち話より＞

Q 運動会の際に同居親族は参加可能か？ A 健康観察が及ぶ同居親族は参加可能。注:お年寄り・幼児

Q テントは張って良いのか？ A 風が通るテントを張っている現状があり、熱中症対策上も良い。三密回避、適正な大きさ、通路確保が重要。3時間以内の実施予定であることに留意。マスクは着用。

* この先、ご家族も含めて念入りに健康観察をお願いします。クラスタの発生は絶対に避けたいです。